

大野城市民読書活動推進計画 施策進捗状況シート

P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(2) 読書活動を支える人の活動の活性化			
施策の方向性	学校及び保育所(園)・幼稚園等において子どもたちが、充実した読書活動が行えるように、活動を支える人材のスキルの向上を図ります。 また、読書ボランティアについては、人材の発掘及び育成を継続するとともに、活動の場の創出のほか、活動が縮小している団体等を支援する体制づくりを行い、ボランティアの活動の活性化に取り組みます。			
主な取組	①図書館司書のスキルアップ	②学校司書活動の充実		
	③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援	④読書ボランティアの育成		
	⑤読書ボランティア人材の発掘	⑥読書ボランティア活動の活性化		
	⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり			
成果指標	読書ボランティア延べ活動人数		策定時点	目標値(R9)
			520人	530人
D 令和4年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R4)	目標値(R5)
	各種読書ボランティア講座の実施	年間実施回数	10回	6回
	読書ボランティア情報交換会の実施	年間実施回数	1回	1回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①図書館司書のスキルアップ		達成状況	
	◆国や県等からの研修案内は随時まどかびあへ情報提供している(令和4年度の参加実績:22件)。今後も継続していく。		※令和4年度は計画対象外	
	②学校司書活動の充実		達成状況	
	◆図書館と市が連携し「まどかびあ図書館・小中学校図書室連携部会」を年2回開催し、司書同士の活発な意見交換や情報共有がなされている。交流の場が少ないためか毎回時間切れとなっている。取組の一つとして秋の読書週間に合わせ、図書館と学校司書が協力して図書館情報誌「こぼらら」「わいわいぱらら」に学校司書のおすすめ本を掲載したスペシャル号を発行した。 ◆システムの操作研修を毎年行っているが、司書としての専門的な研修が求められている。今後もニーズを調査しながら連携部会や研修を実施していく。 ◆市民読書活動推進計画の策定に伴い、校長会にて計画の説明を行った。 ◆学校ボランティアとの連携は、3分の2の学校でボランティアによる読み聞かせやブックトークが実施されているが、コロナによる活動制限や活動時間の確保、学校司書の関わり方にばらつきが生じている。今後、連携に関する検討を進めていく。		○	
	③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援		達成状況	
◆国や県等からの研修案内は保育所(園)や幼稚園へ案内しているが、令和4年度はコロナの影響により、オンラインで参加している園もあつたが多くの園で研修会に参加できていない状況である。オンラインでの参加等を促進していく。		△		

◎期待以上
○期待どおり
△もう少し

	<p>④読書ボランティアの育成</p> <p>◆図書館ではボランティアの経験や目的に応じた講座を実施している。令和4年度は、読み聞かせ入門講座（全3回）47名、読み聞かせスキルアップ講座（全2回）45名、布の絵本製作ボランティア養成講座（全5回）65名を実施し、入門講座では5名、布の絵本製作ボランティア養成講座では4名の新規加入につなげることができた。入門講座は需要もあり毎年実施しているが、スキルアップ講座や「赤ちゃん向け」「ブックトーク」などの専門的な入門講座は、ボランティアのニーズがうまく合わず、開催が難しい。</p> <p>◆市では、ボランティアの活動充実と活性化を目的として、協力ボランティアを募集して企画や当日の運営に関わってもらい、スキルアップ講座として講演及びその内容を踏まえた意見交換を行った。令和5年度からは、ボランティア同士の交流を目的とした情報交換会へ移行していく。</p> <p>◆市では、国や県等から情報提供された研修案内や助成制度紹介をボランティア団体へ周知している。また、図書館や市が実施するイベントや研修案内を広報やボランティア団体へ通知するほか、読み聞かせボランティアへメール等で発信した。今後は、情報発信に加え、ボランティア同士や関係機関・団体との連携を強化し、情報共有できる機会を拡大していく。</p>	<p>達成状況</p> <p style="text-align: center;">○</p>
	<p>⑤読書ボランティア人材の発掘</p>	<p>達成状況</p>
	<p>◆市では市内で活躍する読書ボランティア等の情報を集約した「読書ボランティアへのおさそいチラシ」を発行しており、令和4年度も情報を拡充し、各所への設置やホームページへの掲載を行った。読み聞かせボランティアの新規登録にはなかなか繋がっておらず、団体によっては人材不足により活動に支障が生じている。今後は、イベントや講座等のなかで積極的なボランティア募集の働きかけていく。</p>	<p style="text-align: center;">△</p>
	<p>⑥読書ボランティア活動の活性化</p>	<p>達成状況</p>
	<p>◆市では読み聞かせボランティアの登録を受け付け、市内で読み聞かせを必要とする団体等への紹介を行う「読み聞かせボランティア登録・紹介制度」を実施している。令和4年度は市事業（1事業・2件）に協力いただいたが利用件数が少ないため、今後は登録者募集だけでなく、利用促進に取り組んでいく。</p> <p>◆図書館では令和4年度、布の絵本製作ボランティアの活動PRとして「第16回図書館子どもまつり」で布の絵本のあそび場を設置するほか「図書館へようこ!!2022年秋」でエプロンシアターの展示を行った。広報及び養成講座を経て会員数は増加に転じたが、技能や経験にばらつきがあり、経験の少ないボランティアからは指導者を求める声もある。今後は、経験の度合いに関わらずボランティア同士が協力して作品の完成を目指すようなサポートや高齢のボランティアでも安心して活動できる環境整備に取り組んでいく。</p>	<p style="text-align: center;">○</p>
	<p>⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり</p>	<p>達成状況</p>
	<p>◆市が実施しているスキルアップ講座ではボランティア同士や学校司書や関係機関・団体で活動する人との交流する機会を提供できているが、講座以外でボランティア同士が交流できる場がないため、交流の場や連携機関が求められており、今後検討が必要な状況である。令和5年度からは「講座」を「情報交換会」と改め、ボランティアと協力しながら検討していく。</p>	<p style="text-align: center;">○</p>
C 評価		
<p>推進委員会 評価</p>	<p>◆図書館の入門講座は、参加しやすいように定員や参加回数等を検討してはどうか。</p> <p>◆読書ボランティアに限らず、色々なボランティアで若い世代の参加が減っているが、定期的な活動ではなく、インターネットで気軽に参加できる単発の活動は30~40代が増加傾向である。ボランティアセンターが紹介しているボランティアエントリーシステム等の活用も参考にしてほしい。</p> <p>◆現在活動中の読書ボランティア団体も、人員確保や研修等、多くの課題を抱えていることから、解決に向けた取組が必要。</p>	
<p>検討が 必要な事項</p>	<p>◆入門講座の実施方法の検討（実施主体：図書館）</p> <p>◆読書ボランティア団体の抱える課題解決に向けた取組の検討（実施主体：市、図書館等）</p>	
A 改善		
<p>改善に向け た取組等</p>	<p>◆入門講座に多くの方が参加しやすいよう、実施日や方法、回数等の見直しを行う。</p> <p>◆市では、図書館や読書ボランティアと連携して、各団体が抱える課題解決に向けた取組の検討を行っていく。</p>	